

会議録

会議名	第33回 海津市地域公共交通会議
日時	令和4年5月15日(月) 13:30~15:00
場所	海津市役所 西館1階 大会議室
出席者	委員25名 事務局3名
傍聴人	2名
議題等	報告1 コミュニティバスの利用状況について 報告2 令和4年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価について 報告3 デマンド交通停留所の新設について 議題1 令和4年度決算について 議題2 令和5年度事業計画及び予算(案)について 議題3 地域公共交通確保維持改善計画(案)について 議題4 (仮称)海津津島線の実証実験について 議題5 デマンド交通土曜日運行の実証実験について

協議・報告事項

【報告1】 コミュニティバスの利用状況について

事務局から説明 **資料1**に基づき説明

資料1 コミュニティバスの利用状況

○委員からの質問・回答、意見等 (→事務局回答、⇒他委員回答)

- ・令和5年3月にデマンド交通の利用者数が大きく増加しているのはなぜか。
→今後分析を行い、別途報告する。

【報告2】 令和4年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価について

事務局から説明 **資料2**に基づいて説明

資料2 令和4年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価

- ・「期待する取組」に記載されている「住民主体の取組み」とは、具体的にどこか。
→現在、市内では、住民主体の輸送サービスとして、石津、下多度、西江地区で地区社会福祉協議会による高齢者の輸送サービスが行われており、このような取組みを「住民主体の取組み」と位置付けている。
- ・デマンド交通のミーティングポイントを増やし、利便性を高めるのはよいことだが、定路線バスとの取り合いになるようなことも懸念されるので、検討時には考慮してほしい。
→デマンド交通は、定路線バスに接続する支線的な位置付けとしている一方、市民からはそのような形で利用されていない。定路線バスの利用を阻害しないように勘案しながら設置を進めていきたい。

- ・定路線バスでも移動できる区間で予約があった場合は、オペレーターが定路線バスを案内するなど工夫することも考えられる。

【報告3】 デマンド交通停留所の新設について

事務局から説明 **資料3**に基づいて説明

資料3 デマンド交通停留所新設場所一覧

【議題1】 令和4年度決算について

事務局から説明 **資料4**に基づいて説明

資料4 令和4年度決算について

- ・歳出の「名古屋圏アクセスバス委託業務」の内容はなにか。
→昨年11月に2000世帯4000人に対し名古屋圏へのアクセスに関する市民アンケート調査を実施し、その結果に基づき、アクセスバスの接続駅の選定やダイヤ案の作成を行っている。

○原案のとおり承認

【議題2】 令和5年度事業計画及び予算（案）について

事務局から説明 **資料5**に基づいて説明

資料5 令和5年度事業計画及び予算（案）について

- ・利用促進策について、お千代保稲荷への看板設置以外に手法はないか。
→昨年度にお千代保稲荷の金券を付けて往復きっぷを販売した結果、利用者増加につながった。今後も運行事業者などの関係者と協力し、観光促進に向けた施策を進めていきたい。
- ・にしみのライナーリレーバスが運行されていることや、アクセスバスが試行運行されることを知らない市民も多いと考えられる。積極的な周知が必要ではないか。
→昨年度実施したアンケート結果からも、地域によっては周知不足の面もみられる。今後より一層啓発をしていきたい。
- ・にしみのライナーリレーバスの起点はどこか。
→平田支所（やすらぎ会館の駐車場）から、お千代保稲荷、ザ・ビッグ輪之内店を経由して安八バス停までを結んでいる。

- ・にしみのライナーリレーバスを市役所から運行する選択肢はなかったのか。
→検討時は市役所から運行する案もあったが、運行経費や限られた台数で運行本数を確保する面から平田支所を発着とした。今後利用が増加し、需要があれば検討したい。
- ・二次評価結果において、利用者や住民ニーズを把握して路線やダイヤの見直しを行うように記載されているが、今年度の事業の中で住民や利用者の意見を把握する場は考えているか。
→利用状況はタウンミーティングで意見収集をするほか、デマンド交通の高齢者団体や海津明誠高校にもヒアリングをしながら利用状況を把握し、中間評価をしていきたい。

○原案のとおり承認

【議題3】 地域公共交通確保維持改善計画（案）について

事務局から説明 資料6に基づいて説明

資料6 地域公共交通確保維持改善計画（案）について

○原案のとおり承認

【議題4】 （仮称）海津津島線の実証実験について

事務局から説明 資料7に基づいて説明

資料7 （仮称）海津津島線の実証実験について

- ・津島駅での名鉄との乗換時間が4分と短い便がある。朝はバスの遅延の恐れもあるが問題ないか。
→朝・昼・夜に何度か計測した結果、遅くとも30分以内には十分到着するため、このような時間設定とした。
- ・遅延を考慮すると、乗換時間は余裕を見て10分程度確保した方がよいのではないか。
→朝の時間帯の名鉄津島線は、約10分間隔と頻りに運行されているため、利用上は問題ないと考えられる。今後所要時間等も考慮した上で最終的な調整を行い、7月の会議でダイヤ案を提示する。
- ・運行に使用するジャンボタクシー車両は、車いす等障がい者も利用できるか。
→車両については調整中であり、次回の会議で提示する。
- ・「見込まれる効果」は、実証実験後に見込まれる効果か、実証実験中でも見込まれる効果か。
→実証実験中から見込まれる効果を記載している。

- ・市外からの観光客に対しては、どのように周知するのか。
→市のホームページだけでなく、観光部局とも連携し、イベント開催時等に作成するチラシに記載するなど周知していく。
- ・インターネット検索でヒットすることが重要だと考えている。アクセスバスは経路検索にも対応するのか。
→現在、海津市内の定路線バスは、各種検索サイトやGoogle マップによる経路検索に対応しており、アクセスバスも同様に対応させる予定である。

○原案のとおり承認

議題5 デマンド交通土曜日運行の実証実験について

事務局から説明 **資料8**に基づいて説明

資料8 デマンド交通土曜日運行の実証実験について

- ・土曜日・日曜日はインターネット予約のみの受付となるが、高齢者でもインターネット予約のみで対応できるか。
→10月に発行予定の利用ガイドにインターネット予約の方法を分かりやすく掲載する予定であり、自治会等に出向いて説明するなど、周知していく予定である。

○原案のとおり承認

その他意見

- ・かつては電車通勤が多くみられたが、時代の変化により現在は少なくなっている。利用者を増やすためには、養老鉄道の速達性向上やコミバスとの接続を図る、大手企業に公共交通を利用した通勤を推奨するといった方策も必要だと考える。また、海津市南部から名古屋方面へのルートがないため、将来的に検討してほしい。

その他

第34回海津市地域公共交通会議について説明

閉会

以上